

こぎつねのママ ママのこぎつね

施 暖暖、龍 縁之：文 / 施 暖暖：絵
古屋 朋：訳 / 現代書館

ある日突然さらわれたこぎつねは、逃げ出した見知らぬ土地でママを探し歩きます。本をひっくり返して反対から読むと、こぎつねを探すために毛皮工場から逃げ出したママの物語が始まります。2匹は無事に会うことができるのでしょうか。



市民図書館所蔵

おすすめの本

それが、ばあちゃんのだ。 ～子どもの目から読み解く認知症～

藤川 幸之助：著 / ワールドプランニング

著者は、こどもたちに認知症について学んでもらうため、作文を書いてもらいました。認知症の高齢者をまっすぐに見つめるこどもたちは、大人たちに大切な気付きを与えます。認知症の人にどう向き合えばいいのか改めて考えさせられます。



おはなしを届けるための講座 無料

時 午前10時～正午

初級編：11月23日、12月14日(日)

中級編：11月9日・30日、12月21日(日)

バリアフリーウィーク 無料

● 障がい者の読書活動に関する展示

時 12月1日(月)～7日(日)

● 音声ガイド付きビデオ上映会

時 12月6日(土) 午前10時～11時30分

「赤毛のアン」

12月7日(日) 午前10時～正午

「きみの瞳が問いかけている」

● 手話で楽しむおはなし会

時 12月6日(土)

午後2時～2時30分

● リーディングトラッカー手づくり講座

時 12月6日(土)

午後2時30分～3時30分

● サピエ図書館の紹介・体験会

時 12月7日(日)

午後1時30分～3時

申込方法など詳しくは、
市民図書館☎をご覧になるか、
市民図書館☎(☎576-8241)へ。



楽しみながら、エコに触れよう！

エコやSDGsといった言葉をよく聞くけれど、私たちが具体的にできることってなんだろう？今回はエコが身近に感じられる施設を紹介します。

大分エコライフプラザがどんな施設か教えてください。

福宗環境センターリサイクルプラザの敷地内にある、市民の皆さんに気軽に楽しみながら、エコに触れてもらうための施設です。

おすすめのイベントは何でしょう？

毎月第1日曜日に開催している再生家

具と再生自転車の抽選会、フリーマーケット、おもちゃのかえっこバザールです。また年に4回ほどおもちゃのかえっこオークションも開催しています。

私たちが個人でできることは何かありますか？

大分エコライフプラザでは、ごみ減量を目的として廃棄される家具や自

転車を修理、再生して抽選という形で市民に無料譲渡しています。また、まだ使える古着、おもちゃ、絵本のリユース、月3回の体験教室などさまざまな取り組みを行っています。古着やおもちゃ、絵本はイベントを行っていない開館日に、持ってきていただければ受け入れ可能です(状態などによっては引き受けできない場合があります)。

大分エコライフプラザを知らなかったという人にもぜひお越しいただき、リユースに関心を持ってほしいです。

問 大分エコライフプラザ
☎588-1410

福宗618番地
開館時間：午前9時～午後5時
休館日：毎週月曜日(ただし祝日の場合は翌日以降の平日)



編集担当より

表紙は「FUNAIジュニアガイド」のみなさん🚩
「FUNAIジュニア検定」と研修をクリアした小学生から高校生までの27人が、歴史的文化遺産を訪れた人へガイドを行っています😊

オリジナルのフリップには、イラストやクイズなど、たくさんの工夫がされていました🥰✨

今回は遊歩公園(府内町二丁目)にある、西洋医術発祥記念像の前で撮影しました📷

今年は日本の医術の発展に大きく貢献したルイス・デ・アルメイダの生誕500年。さまざまなイベントが開催されますので、ぜひチェックしてください🎵



自分らしい選択ができること

シリーズ じんけん 人の生き方を考える 563



「今どきの学校の制服は、女の子もスラックスなんだな。職場体験に来た子たちを見て自分たちの世代と変わったなと感じたよ」と突然父が夕飯のときに言ったのです。母は「そうよ、サキ(仮名)が来年入学する学校もスラックス・スカート・ハーフパンツの中から自分が着たいものを選べるのよ」と説明していました。すると父はわたしに「サキは、どうするんだ？」と聞いてきたので「今、考え中」とだけ答えると母が「選択することができるのってうらやましいな」と言うのです。わたしがその理由を尋ねると「だって、毎日着るものって大事でしょ。わたしもスラックスの制服着たかったな」と言うのです。

母は確かに動きやすさを重視したファッションを楽しむ人で、パンツスーツがとても似合っているな、とわたしはいつも思っていました。「制服はスラックスにしようかな？」

うかな？」と言うと、父は少し驚いた顔をしながら「サキはスカートの方が似合うと思うけど…」と言ったのです。そんな父を見ながら母は「自分が好きなのを選んだらいいよ」と言ってから「着たいものを選ぶときって、動きやすさ・好み・あざや傷を見せたくないとか人の数だけ理由があるんじゃないのかな。選択できる権利がある、そして自由に選択できる環境もあるってすてきなことよね」と自分に言いかけするように話したのです。

真剣な顔で聞いていた父が「今の学校ってそういう環境に変わってきているんだな。誰もが自分らしい選択に自信が持てる社会になっていくといいよな」と納得した様子で言ったのです。わたしは家族とこのような話ができたとをうれしく思ったのでした。

自分らしく自己決定できる社会は、誰にとっても安心して過ごせる社会ではないでしょうか？

パリパリごんぼ▼



応募方法

スマホ 右の二次元コードから応募してください。
はがき はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、11月15日(土)〈消印有効〉までに広聴広報課(〒870-8504 荷揚町2-31 ☎537-5713)へ。



市報クイズ

ルイス・デ・アルメイダが1557年に建設した、日本初の西洋式病院は？「○○病院」

ヒントは、この市報の中にあります。

10月号「市報クイズ」の答え
大南地区に完成する、
スポーツ施設の名前は？
「南部スポーツ交流ひろば」